

《 健康福祉部 令和8年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

部長 黒川 克彦	理事 板垣 裕之	
----------	----------	--

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】 「誰もが生きがいを持ち、健やかで幸せに暮らすことのできるまち」を目指し、健幸都市づくりを進めます。 ◆市の総合政策として部局横断的に取り組み、産学公民が連携して、健幸づくりを進めます。 健康・医療・保険・福祉の充実を図り、「健幸で安心して暮らせるまちづくり」を進めます。 ◆いきいきとした高齢社会の実現に向けた取組と、あんしんできる高齢期の生活への支援を進めます。 ◆障害のある人もない人も、共に生きる社会づくりを進めます。 ◆地域共生社会の実現に向けて、複合化・複雑化した支援ニーズに対し、関係機関等とともに包括的な支援体制の整備を進めます。 ◆“誰もが健康で長生きできるまち草津”を目指し、市民の健康づくりを進めます。 ◆生活安定への支援と暮らしの安心の確保に取り組みます。 ◆安心して医療や介護のサービスが受けられるよう、各保険制度の適切な運営に努めます。 ◆地域の健康課題の解決に向けて、関係機関と連携を図りながら取り組み、地域の特性に応じた健康づくりの支援に努めます。
【重点事項】 ◆「健幸都市くさつ」の実現に向けて、デジタルヘルスケアのための環境構築や各種広報手段での情報発信に取り組みます。 ◆「認知症があっても安心して生活できるまちの実現」のために、共生・予防の観点の強化を図り、認知症を我が事として社会全体で支える取組を進めます。 ◆市民が安心して生活できる地域共生社会の実現を目指し、地域に関わるすべての人と行政が一体となって、総合的に福祉施策の取組を進めます。 ◆各種がん検診の受診率向上対策を実施し、市民の受診機会を拡大し、がんの予防、早期発見・早期治療の取組を進めます。 ◆経済的な困窮や複合的な課題を抱える市民への総合相談支援の充実を図ります。 ◆市民の生活を維持するセーフティネットとして、面接相談や被保護者の就労支援やその準備等、生活保護制度の適切な運営を行います。
【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】 「健幸都市くさつ」の実現に向けて、従来の健康福祉施策の枠を超え、市の総合政策として、産学公民が連携して健幸都市づくりを推進します。 ◆自由な発想により健幸都市づくり関連事業を企画立案し、部局横断的に健幸都市づくりを推進します。 ◆市民一人ひとりが、より良い生活習慣の確立や、健全な食生活を実践できる環境づくりを進めます。 ◆健幸フェアやびわこ・くさつ健幸フェスタなど、楽しみながら健康づくりへの関心が広がるイベント(きっかけづくり)を実施します。 ◆健診等のデータからみえる地域ごとの特性に応じた健康づくりの活動を支援します。

【見 積】令和8年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和8年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	139,015	120,722	○(健康福祉政策課)健康測定機器の増設によってデジタルヘルスケアの環境構築を進めるとともに、各種広報手段で健幸都市に係る情報発信に取り組みます。 ○(人とからしのサポートセンター)福祉の総合相談窓口として、多様で複合的な悩みの相談や生活困窮者支援の取組を行うとともに、地域共生社会の実現に向けて、複合化・複雑化した支援ニーズに対し、関係機関等とともに包括的な支援体制の整備を進めます。 ○(生活支援課)市民の生活を維持するセーフティネットとして、生活保護制度の適切な運営を行うとともに、被保護者の自立生活の確保に向けて、就労意欲の喚起や就労に必要な基礎能力の形成を図ります。 ○(健康増進課)アピアランスケア支援事業を拡充し、がんになっても住み慣れた地域で生活し、必要な支援を受けることができる環境づくりを進めるとともに、予防接種および各種けん診受診料の免除申請について電子申請の導入を行い、申請者の負担軽減と事務の効率化を図ります。 ○(長寿いきがい課)すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるまちの実現に向けて、「草津あんしんいきいきプラン」、「草津市認知症施策アクション・プラン」に基づく取組を進めます。 ○(介護保険課)草津あんしんいきいきプラン第9期計画に基づき、適切なサービスの提供に努め、安定的な制度運営を行います。 ○(障害福祉課)障害者の福祉の増進を図るため、日常生活に必要なサービスの支給を行います。 ○(保険年金課)安心して医療サービスが受けられるよう、国民健康保険制度、後期高齢者医療制度、福祉医療費助成制度を適切に運用します。また、各被保険者の健康づくりの取組を進めます。
人とからしのサポートセンター	81,125	21,054	
生活支援課	2,518,139	662,215	
障害福祉課	4,562,320	1,460,689	
健康増進課	952,000	831,283	
長寿いきがい課	550,637	336,683	
介護保険課	1,712,549	1,643,433	
保険年金課	4,206,973	3,019,630	
合 計	14,722,758	8,095,709	

【前年度】令和7年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	141,858	123,895	
人とからしのサポートセンター	405,699	20,717	
生活支援課	2,465,630	654,197	
障害福祉課	4,168,757	1,268,197	
健康増進課	1,178,742	991,140	
長寿いきがい課	568,245	319,878	
介護保険課	1,664,431	1,589,544	
保険年金課	4,130,407	2,950,143	
合 計	14,723,769	7,917,711	

【増 減】（【見 積】－【前年度】）

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	▲ 2,843	▲ 3,173	
人とくらしのサポートセンター	▲ 324,574	337	○(健康福祉政策課)民生委員一斉改選終了による減、地域福祉計画策定完了による減
生活支援課	52,509	8,018	○(人とくらしのサポートセンター)
障害福祉課	393,563	192,492	歳出総額…定額減税補足給付金給付費の事業終了による皆減、地域活性化センター助成金の減
健康増進課	▲ 226,742	▲ 159,857	○(健康増進課)新型コロナウイルスワクチン接種見込み減に伴う減
長寿いきがい課	▲ 17,608	16,805	HPVキャッチアップ接種経過措置終了に伴う減
介護保険課	48,118	53,889	○(長寿いきがい課)なごみの郷工事費の減・ロクハ荘工事費の増・高齢者フレイル予防事業の増
保険年金課	76,566	69,487	○(介護保険課)介護給付費の増に伴う介護給付費繰出し金の増
			○(生活支援課)受給世帯増加に伴う扶助費の増
合 計	▲ 1,011	177,998	○(障害福祉課)手帳所持者数等の増加に伴う各種給付利用者の増、障害者の重度化等による給付費の増

主要な事業(新規・拡大・重点事業等)（一般会計および特別会計）

事業名	事業費(千円)	一般財源	事業概要
デジタルヘルスケア事業	1,514	1,514	デジタル対応型の健康測定機器設置場所を拡充することで、デジタルヘルスケアの取り組みを推進し、市民の健康意識を高めます。
「健幸都市くさつ」広報・啓発強化事業	3,430	3,430	本市が目指す「健幸」や、「健幸都市づくり」に対する認知度を向上させるため、健幸づくりに関連した各種の啓発・体験型イベントを実施するほか、映画館のシネアド(プロモーションCM)や各種SNSなど、様々な媒体・方法を活用し啓発・情報発信の強化に取り組み、「健幸都市くさつ」の認知度向上を図ります。
災害弔慰金等支給事業費	99	99	有事に備え、災害弔慰金や災害障害見舞金の支給を速やかに行うための審査体制を事前に整備するものです。
AIを活用した運動プログラム×フレイル予防運動教室	4,874	0	AIを活用し、フレイル状態およびその予備群にある高齢者の年齢や身体機能の測定結果をもとに、その高齢者に合った自宅のできる運動プログラムの提供と集団の運動教室と合わせ高齢者の運動の習慣化を図り、フレイル予防につなげます。
生活保護ケースワーク業務DX推進事業	6,583	3,835	根拠法令検索サービスおよび面談支援サービス(タブレット端末活用)の導入による事務作業の負担軽減等、AIを用いたDX化を図ります。
接種料及び受診料の免除申請における電子申請の導入	193	193	予防接種および各種けん診受診料の免除申請について、草津市電子申請サービスを活用した電子申請を導入するとともに、窓口に電子申請用の電子端末を設置し、申請者の負担軽減と事務の効率化を図ります。
がん患者支援体制構築事業(アビアランスケア支援事業の拡充)	2,617	2,077	現在、がん患者支援体制構築事業(アビアランスケア支援事業)として、補整用具(ウィッグ、乳房補整具等)にかかる費用の一部を助成しておりますが、外見変化は頭髮や乳房に限らず、また、購入にかかる費用は高額で、補整用具が必要となる期間には個人差があることから、助成の拡充を行い、がんになっても住み慣れた地域で生活し、必要な支援を受けることができる環境づくりを進めます。
自立支援医療のオンライン資格確認の導入	15,000	7,500	医療機関等を、マイナンバーカード1枚で受診できる環境整備の取組を進めるため、オンラインで自立支援医療の資格確認ができるよう情報連携基盤(Public Medical Hub【PMH】)との情報連携にかかるシステム改修をするものです。
福祉窓口DX推進事業	793	793	透明インターフェイス「レルクリア」と会話文字化アプリ「UD」トーク導入により会話の見える化／多言語翻訳が可能となります。
介護情報基盤との連携	9,524	4,763	介護認定等の介護情報をオンラインで確認できるよう介護情報基盤との情報連携にかかるシステム改修をするものです。
医療費助成のオンライン資格確認の導入	7,128	3,564	医療機関等を、マイナンバーカード1枚で受診できる環境整備の取組を進めるため、オンラインで医療費助成の資格確認ができるよう情報連携基盤(Public Medical Hub【PMH】)との情報連携にかかるシステム改修をするものです。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
健康福祉政策課	40,195	41,578	▲ 1,383	0	0	0	○(健康福祉政策課)広報啓発に係る経費によるもの ○(人とくらしのサポートセンター)扶助費…地域生活支援事業費の国費県費補助割合の減による一般財源の増によるもの ○(健康増進課)接種料及び受診料の免除申請における電子申請の導入、がん患者支援体制構築事業(アビアランスケア支援事業の拡充)によるもの ○(長寿いきがい課)なごみの郷高圧ケーブル更新工事費の増、防犯カメラ設置事業によるもの ○(介護保険課)介護保険システム制度改正対応改修費が必要になったことに伴う一般事務費繰出金の増によるもの ○(生活支援課)生活保護ケースワーク業務のDX化による業務の効率化のための導入費用の増によるもの ○(生活支援課)受給世帯増加に伴う扶助費の増によるもの ○(障害福祉課)施設整備に対する補助金等の増によるもの、障害福祉サービスの利用者増加等に伴う扶助費の増によるもの
人とくらしのサポートセンター	3,158	3,238	▲ 80	2,234	2,345	▲ 111	
生活支援課	10,215	15,216	▲ 5,001	507,326	640,190	▲ 132,864	
障害福祉課	11,788	51,224	▲ 39,436	1,088,320	1,246,028	▲ 157,708	
健康増進課	14,706	14,828	▲ 122	576,926	565,820	11,106	
長寿いきがい課	24,701	27,064	▲ 2,363	68,869	65,614	3,255	
介護保険課	44,059	52,697	▲ 8,638	3,621	5,979	▲ 2,358	
保険年金課	49,116	49,116	0	758,836	758,836	0	
合 計	197,938	254,961	▲ 57,023	3,006,132	3,284,812	▲ 278,680	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について